



太陽のような笑顔が輝いた運動会

体育主任 佐藤 雄大

5月18日（日）に運動会を行いました。今年の児童会スローガン「一人一人が太陽 笑顔が輝く八幡小学校」の通り、子供たちがそれぞれの場面で活躍する素敵な運動会となりました。

徒競走では、一人一人が自分のもてる力を発揮し、全力でゴールを目指しました。団体競技では、心を一つに力を合わせて競技に取り組みました。リレーでは、懸命にバトンをつなぐ姿が輝いていました。応援合戦では、互いの団の健闘を称え合うとともに、休み時間返上で練習に励んだ成果を出し、堂々とした応援を披露しました。精一杯やり切ろうという姿勢や思いは、八幡っ子にずっと受け継がれていくと思います。

P T A委員の皆様には、運営が滞りなく行われるよう、様々な場面においてご協力いただきました。地域の皆様にも、朝早くから大きな声援を送っていただきました。新たに取り入れた交流競技には、地域や保護者の皆様にたくさん参加していただきました。温かい雰囲気の中楽しんだ玉入れ、大人対子供で熱い決戦が繰り広げられた綱引きは、子供たちにとっても、保護者や地域の皆様にとっても思い出に残れば幸いです。

学校行事においては、目当てをもつこと、振り返りをしっかりと行うことを大切にしています。一人一人の頑張りだけでなく、学級や学年の友達の頑張りやよさにも目を向け、互いに認め合うことで、自分たちの成長を実感し、自尊感情の向上につながるようにしています。ぜひご家庭でも、お子さんのこれまでの頑張りを認め、次の活動への意欲につながるよう声をかけていただきますよう、よろしくお願いいたします。



下学年のリーダーとして

3年担任 手操 宙志

「チェッコリ玉入れ」は、3年生が下学年の最上級生として臨みました。初めての合同練習では、3年生が、率先して、笑顔いっぱい元気いっぱい踊りました。また、1年生が上手に踊れるようにと、3年生がダンス動画を撮影して1年生に見てもらい、休み時間にも一緒に踊りました。そんな3年生の主体的な取組により、1、2年生も、キレッキレのダンスを踊ることができるようになりました。

また、休み時間に、応援合戦の練習をする下級生を目にした子供は、「1、2年生が練習しているよ!」と、教室にいる友達に声をかけ、3年生全員が1、2年生の輪に入り、喉を枯らすほど一緒に練習したこともありました。話合いでは、「ダンスや応援を考えてくれた高学年のために」「休み時間、一緒に練習してくれた友達のために」という声が聞かれました。

運動会を通して、学級の仲間はもちろん、下級生とも上級生とも関わりながら成長した3年生です。これからもたくさんの友達と助け合い、共に高め合っていくことを期待しています。

